ポリマーセメント系断面修復材 リフレモルセットSPハイパー

東・中・西日本高速道路㈱ 構造物施工管理要領 左官工法による断面修復性能照査項目適合品
首都高速道路㈱ コンクリート構造物補修・補強設計要領[コンクリート片剥落防止編]断面修復材の品質規格SDK D-113適合品

リフレモルセットSPハイパーとは

リフレモルセットSPハイパーとは，高機能性特殊粉末樹脂及び特殊短繊維をプレミックスした，ポリマーセメント系コンクリート断面修復材です。

リフレモルセットSPハイパーの特長

(1) 簡便な混練作業
施工現場において，所定量の水と混練するだけで，品質の安定したポリマーセメントモルタルが得られます。

(2) 優れた施工性
天井面において最大30mm，壁面において最大40mmまで一度に施工でき，仕上げ性にも優れ，良好な仕上げ面が得られます。

(3) 高いひび割れ抵抗性
高機能性特殊短繊維により，乾燥や衝撃などに対して高いひび割れ抵抗性を示します。

(4) 優れた付着性
高機能性特殊粉末樹脂により，既設コンクリートに対して優れた付着性を発揮し，一体化が図れます。

(5) 優れた耐久性
主成分である特殊無機系材料により，長期間にわたって安定した性能を発揮し，耐久性，耐候性に優れています。

断面修復工の施工環境管理

- 施工時及び養生時の気温が5～40℃で，結露しない環境下にて施工を行って下さい。
- 施工後強風・降雨・直射日光を受けないよう配慮願います。
- 5℃を下回ると考えられる場合はジェットヒーター等を用い作業場の雰囲気温度を上げて下さい。
- 氷点下の気温が予想される場合は施工を中止して下さい。
- 酷暑時には，練り上がり温度が概ね30℃以下になるよう，練り水に冷水を用いる等の対策を講じて下さい。

取り扱い上の注意

- 本製品は強いアルカリ性を呈し，目，鼻，皮膚等を刺激したり，粘膜に炎症を起こすことがあります。
- 作業時には，保護手袋，防塵マスク，防塵眼鏡等を必ず着用して下さい。
- 目に入った場合は，きれいな水で十分に洗眼し，直ちに専門医の診察を受けて下さい。
- 皮膚に付着した場合は，きれいな水で十分に洗い流して下さい。

荷姿：25kg袋

※荷姿は製造の都合等により予告無く変更する場合がありますので予めご了承ください。

標準配合

	リフレモルセットSPハイパー	水	練り上がり量
1袋 配合	25 kg(1袋)	4.0～4.6kg	約14.5ℓ
1m³配合	1725kg(69袋)	297kg	約1000ℓ

物性値の一例（20℃）

試験項目		材齢	試験値	試験方法
単位容積質量		-	2.02	JIS A 1171に準拠
フロー値（mm）		-	180	JIS R 5201に準拠
凝結時間（時間-分）		-	始発3-50	JIS R 5201に準拠
			終結4-30	
曲げ強度（N/mm²）		3日	5.2	JIS R 5201に準拠
		7日	7.0	
		28日	8.4	
圧縮強度（N/mm²）		3日	32.8	JIS R 5201に準拠
		7日	43.5	
		28日	52.6	
静弾性係数（kN/mm²）		28日	20.4	JIS A 1149に準拠
付着強度（N/mm²）	標準状態 (1)	7日	2.0	JIS A 1171に準拠
		28日	2.7	
	耐アルカリ性試験後	-	2.0	NEXCO『構造物施工管理要領』左官工法による断面修復の性能照査項目
	温冷繰り返し試験後	-	2.0	
長さ変化率（硬化収縮率）	材齢2日脱型基長 23℃50%RH気中養生	28日	-0.04	NEXCO『構造物施工管理要領』左官工法による断面修復の性能照査項目
吸水率（%）		-	3.0	JIS A 1171に準拠
透水量（g）		-	4.5	JIS A 1171に準拠
中性化速度係数（mm/√週）		26週	0.628	JIS A 1171に準拠
塩化物イオンの見掛けの拡散係数（cm²/年）		-	0.21	JSCE-G572に準拠
凍結融解に対する抵抗性（300サイクル耐久性指数%）		-	90.0	JIS A 1171に準拠

(1)：JIS R 5201の8.2「温度と湿度」に規定される温度20±2℃，相対湿度50%以上をいう。

施工方法

下地処理

1.下地コンクリートの浮き，脆弱部，レイタンス，油類などを除去します。

2.鉄筋部分は錆を落とし，防錆材などによる防錆処理を行います。

3.下地コンクリートを十分に水洗いし，湿潤状態を保ちます。水洗いが不可能な場合は下地をエアーブロー等で良く清掃し，プライマー処理を行ってください。

材料の混練

配合表を目安にモルタルミキサーを用い，3分間以上混練します。

※外気温，水温，練り上がり温度，湿度等により，可使時間，施工時間が変わるため，施工性の確認を行いながら，規定水量の範囲内で混練水量を調節します。

※練り上がった材料は，可使時間以内に使い切ってください。

施工

1.コンクリート下地表面の水引を確認します。

2. 3～5mm厚みでしごき塗りを行い，追っかけで20～30mm程度の塗り厚で塗り上げてください。

打ち継ぎ

リフレモルセットSPハイパーの打ち継ぎ間隔は前層の指触硬化(しまり)を目安とします。

■リフレモルセットSPハイパーの打ち継ぎ間隔の目安

冬期 外気温5～15℃	標準 外気温16～25℃	夏期 外気温26℃以上
4～6時間以上	2～3時間以上	1～2時間以上

打ち継ぎ時の下地表面は、木ゴテ等による適度な凹凸面または吹放し面を基本として、処理方法は状況に応じて以下のように行います。

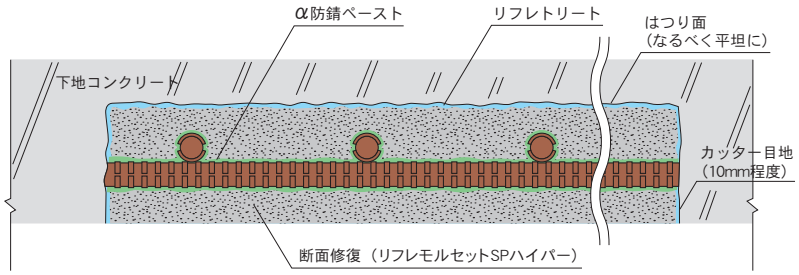
タイミング	打ち継ぎ面への処理
指触硬化の確認	連続的に施工が可能な場合、基本的にはそのまま施工します。湿潤状態が失われている場合には適宜水湿しを行います。余剰水は拭き取る等して除去します。
過度に乾燥した場合※1 翌日以降	「リフレトリート」(当社プライマー)を塗布量100g/m²を目安に噴霧器等を用いて塗布します。噴霧された「リフレトリート」が指触乾燥後に打ち継ぎを行います。

(※1) 指触硬化のタイミングからある程度時間(約4時間)が経過した後など

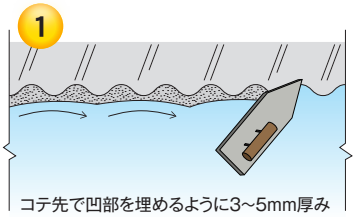
養生

施工後は，直射日光や風等が当たらないようにシート養生等を行ってください。
また，寒冷時には，保温養生を行ってください。

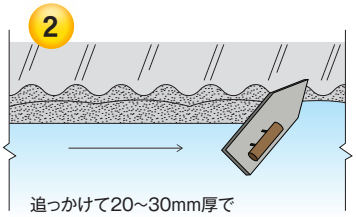
標準施工図



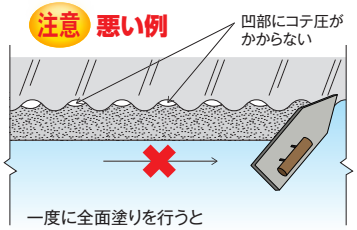
施工イメージ



コテ先で凹部を埋めるように3～5mm厚みでしごき塗りを行う。

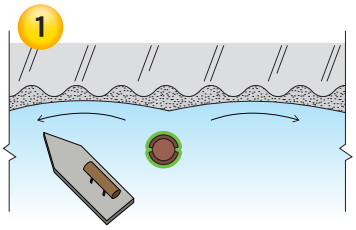


追っかけて20～30mm厚で全面に塗布する。

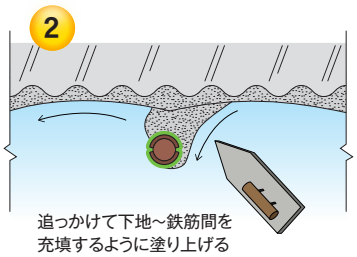


一度に全面塗りを行うと凹部にコテ圧がかからないためはがれたり,付着不良の原因となる。

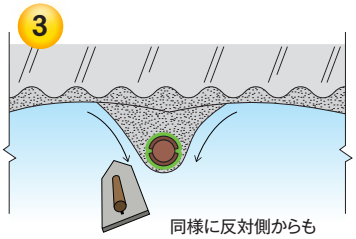
鉄筋裏の塗りつけイメージ



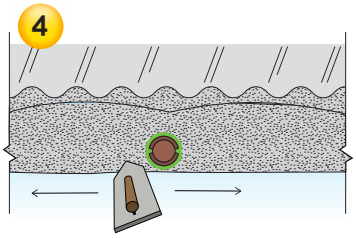
コテ先を用い鉄筋凹部を埋めるように3～5mm厚でしごき塗りを行う。



追っかけて下地～鉄筋間を充填するように塗り上げる



同様に反対側からも塗り上げる



指触硬化後、20～30mm厚で全面に塗布する。

(注) 鉄筋と下地の間隔が20mm以上ある場合は2回に分けて充填する。

使用および取扱いの前に，当製品の安全データシート(SDS)をお読みください。
本カタログの記載内容については，予告無しに変更する場合がありますので，予め御了承願います。

住友大阪セメント株式会社 建材事業部

東　京	〒105-8641 東京都港区東新橋1-9-2（汐留住友ビル20F）	電話 03(6370)2721	Fax 03(6370)2759
大　阪	〒530-0004 大阪市北区堂島浜1-4-4(アクア堂島東館15F)	電話 06(6342)7704	Fax 06(6342)7708
名古屋	〒450-0003 名古屋市中村区名駅南2-14-19(住友生命名古屋ビル3F)	電話 052(566)3202	Fax 052(566)3273
札幌支店	〒060-0003 札幌市中央区北三条西2-10-2(札幌HSビル10F)	電話 011(241)3901	Fax 011(221)1017
東北支店	〒980-6003 仙台市青葉区中央4-6-1(SS30 3F)	電話 022(225)5251	Fax 022(266)2516
北陸支店	〒920-0849 金沢市堀川新町2-1(井門金沢ビル7F)	電話 076(223)1505	Fax 076(223)0193
四国支店	〒760-0033 高松市丸の内4-4(四国通商ビル6F)	電話 087(851)6330	Fax 087(822)6870
広島支店	〒732-0827 広島市南区稲荷町4-1(広島稲荷町NKビル7F)	電話 082(577)7645	Fax 082(577)7646
福岡支店	〒812-0011 福岡市博多区博多駅前1-2-5(紙与博多ビル8F)	電話 092(481)0186	Fax 092(471)0530

本製品に関するお問い合わせ・ご用命は

VEGETABLE OIL INK 植物油インキ使用

E20210331-1000/Rev.20250731